**老年看護学実習（通所施設）評価表**

実習期間　　月　　日～　　月　　日　　　学生番号　　　　　　　　　学生氏名

※評価基準：10～9点…非常に良くできた　8～7点…良くできた　6点…できた　5点以下…努力が必要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実　習　目　標 | 配点 | 自己評価 | 指導者  評価 |
| 1. 利用者の健康状態、生活状況（家族を含む）を老年期の対象の特徴をふまえて理解できる。 | 10 |  |  |
| 1. 利用者への日常生活の援助やリハビリテーション、健康管理の実際を学ぶ。   1) 実施する援助の根拠を明らかにできる。  2) 安全・安楽に留意し、援助を実施できる。  3) プライバシーを配慮した関わりができる。  4) 意思・主体性を尊重した関わりができる。  5) 実施した援助が有効であったか、利用者の反応から確認し評価できる。 | 10 |  |  |
| ３．利用者の送迎を通して居住地域、生活環境、及び家庭における介護状況を理解できる。 | 10 |  |  |
| ４．通所施設の概要とディサービス・ディケアにおける看護の役割・機能について理解できる。 | 10 |  |  |
| ５．実施しているサービスにおいて、利用者の達成目標に向けて、関連職種・機関が地域とどのように連携しているか理解できる。 | 10 |  |  |
| ６．利用者の価値観や人権を尊重し、利用者から学ぶ姿勢を持つことができる。 | 10 |  |  |
| ７．チームに一員としての自覚を持ち責任ある行動ができる。  1) 疑問や不明な点はうやむやにせず、必ず指導者もしくはスタッフに確認し行動できる。  2) 利用者をはじめ通所施設スタッフに対する尊敬への関わりと、看護学生として節度ある行動ができる。  3) 個人情報の取り扱いを遵守することができる。  4) 実施した援助内容と結果を整理し、指導者に必ず報告する。 | 10 |  |  |
| ８．利用者との関わりを通して自己の老年観を述べることができる。 | 10 |  |  |
| 合　計 | 80 |  |  |

通所施設実習レポート評価点（20点）　…教員が記載する（合計　　　　点）　　教員サイン

・課題に沿った内容である。（5点）　　　・誤字・脱字がなく指定された形式で書かれている。（5点）

・考察が加えられている。（10点）

|  |  |
| --- | --- |
| 合計点 | 15%点 |

**施設指導者コメント　　通所施設名　　　　　　　　　　　　　　　サイン**

|  |
| --- |
|  |